



市政ドキュメント
日本共産党 村上さとる
 第5号 2024年1月

村上さとる(暁) : 四日市市あさけが丘育ち、現在垂坂町在住 mail: wg482527@pc5.so-net.ne.jp
 2022年3月まで四日市市職員、現在四日市市議会議員1期目

新図書館の立地場所

繁華街に作る必要があるのか？

令和5年11月定例会議会が、11月29日から12月25日まで行われました。
 12月6日に、「図書館について(新図書館の立地場所とコストの懸念)(現図書館の扱い)」という内容で一般質問を行いました。

1. 風俗店などが特に認められている立地場所は疑問

四日市市立図書館は、築50年を経過しようとしており、新しい図書館の整備に向けて準備をしています。新図書館は、近鉄四日市駅直結エリア、スターアイランド跡地に近鉄グループが建設する高層ビルの3~8階に設置する計画が進められています。
 建設予定地の諏訪栄町は、三重県内でも屈指の繁華街であり、「風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律」いわゆる風営法で規制されている「風俗営業」「性風俗関連特殊営業」の店舗が数多く存在する場所です。



青い囲み
 図書館建設予定地

赤い囲み
 諏訪栄町(「風俗営業」の許可に係る営業制限地域から解除されている地域)

キャバクラ、パチンコ店などの「風俗営業」は、学校や図書館等の周囲70m以内、ソープランド、ファッションヘルスなどの「店舗型性風俗特殊営業」は、周囲200m以内で営業を行ってはならないとされています。ただし、建設予定地の諏訪栄町は、「風俗営業」に関して上記規制が解除された特別な地域であるため、新図書館建設後も図書館のすぐ隣に「風俗営業」店が開店する可能性があります。(「店舗型性風俗特殊営業」の新規開業は不可。ただし現在営業している店舗は、図書館開館後も営業を続けることができる。)

学生や子どもが来館する図書館の立地場所として不適當ではないかと質問しました。

当局は、「図書館の立地場所として風営法の規制を受けるものではない。」と回答しましたが、そもそも風営法は風俗等関連の施設を規制する法律であり、図書館をはじめこれら以外の施設の規制がないのは当然です。

図書館は、調べ物や学習をするために学生の使用も想定されています。図書館への行き帰りの道中で、学生が「風俗営業」「店舗型性風俗特殊営業」の近くを通ることになれば、風営法第1条の趣旨「少年の健全な育成に障害を及ぼす行為を防止」するということからも、この場所への図書館建設は、ふさわしくありません。

2. 借地料70年契約、高額では

新図書館立地予定の土地は、近鉄不動産が所有しています。当該土地に対して市は、70年間の定期借地権を設定するとしています。同場所は県内でも最も地価の高い場所であり、借地料も高額になると予想されます。70年間もの長期契約が将来市の財政に重い負担となることも懸念されます。現在は人が多く集積する場所として近鉄四日市駅前の場所が選ばれていますが、70年後までこれが続くかどうかは分かりません。70年間の間に、図書館の場所を変える必要性が出てきたときに、今回の定期借地の契約が壁となる可能性もあります。

また、建物は30階建とも言われているいわば駅前の「ランドマークタワー」です。それにふさわしくかなり上質な仕様となることも予想され、買い取り価格も高額となることも心配されます。

新図書館にかかるコストについて、当局は「近鉄と協議中である」ということで、具体的な金額は示していません。

図書館建設の候補地については、かつては市役所庁舎東側という案も出ていました。市が所有する土地なので、借地料は不要でコスト面で有利です。三滝通り、中央通りの両方に接し、市役所、総合会館、商工会議所など他の行政機関にも近いなど、立地場所としても優れています。今一度検討すべきではないでしょうか。



3. 現図書館は有効活用すべき

新図書館開館後の現図書館の扱いについて、今年度当初は、新図書館との役割分担や既存ストックの有効活用の視点から、減築をしたうえで継続利用をするとの方針が、市当局から伝えられていました。主な役割としては、閉架図書の保管、車での来館需要の高い低年齢の子どもと保護者対象の機能、自動車文庫の拠点等が想定されているとのことでした。

ところが、その後の8月議会において突然、現図書館は新図書館開館後除却することで検討を進めるという方針が示されました。当局は、減築や維持管理のコスト面を考慮して、除却する方針に変更したとのことでした。

建築後50年が経過したとはいえ、現図書館の耐用年数はまだ20年残っています。先日、図書館の閉架図書、自動車文庫の作業室を見せていただきましたが、仕事がしやすいように考えられていて、とても立派な施設でした。

除却をした場合には、自動車文庫の拠点、閉架図書の保管場所について、新たに土地を確保して建物を建てる必要があります。そうしたことをも考え合わせれば、減築等の余計なコストをかけず、このまま使用するというのも考慮に入れるべきです。

現図書館の建物、土地は市の大切な財産であり、長年図書館として親しまれてきた場所でもあります。上述したように、その役割も残っています。現図書館を大切に使うよう訴えました。

図書館の思い出

小学生の時、学校の図書館にあった『右むけ、左!』や『さよならは半分だけ』などの青葉学園物語シリーズ(作者:吉本直志郎)に出会いました。原爆孤児の養護施設が舞台で、自分と同じくらいの年の小学生たちが明るく元気に駆け回る物語に夢中になりました。大人になって読みたいと思いましたが、すでに廃刊となっていて購入することはできません。四日市市立図書館へ問い合わせをしたら、シリーズすべてを取り寄せていただきました。約40年ぶりの本との再会に感動しました。

過去の名作に出会う貴重な体験。図書館の大切さを再確認しました。



SNS 等でも情報発信中！より濃い世界観をお楽しみください

市政情報だけでなく、映画、音楽等のレビューも書いています。ぜひフォローしてください。

ホームページ



X



フェイスブック



カルチャー 枯れちゃう のコーナー

追悼 チバユウスケさん

世紀末を駆け抜けた伝説的ロックバンド THEE MICHELLE GUN ELEPHANT のボーカリスト、チバユウスケさんが、昨年11月26日亡くなりました。このコーナー「カルチャー 枯れちゃう」は、ミッシェルガンエレファントの名曲『カルチャー』の歌詞から頂いています。社会人になったばかりのころ、会社に行きたくない僕を毎朝奮い立たせてくれたのが、ミッシェルガンエレファントの曲でした。ポータブルプレーヤーから流れる『世界の終わり』『キャンディハウス』『ゲットアップルーシー』などに背中を押されて、入社したことを今も覚えています。ヒリヒリとした緊張感、怒涛の音の洪水、ミッシェルガンエレファントのライブは、唯一無二でした。チバさんのパフォーマンスが二度とみられないと思うと、とても残念です。天国で、ギターのアベさんと爆音ライブをしていることを想像しつつ、ご冥福を祈ります。

2024年1月から、あさけプラザで毎月上映会を行います

昨年9月30日に行った、韓国映画『雪道』の上映会には、多くの方にご来場いただきありがとうございました。今年の1月からは、毎月上映会を行う予定です。

1月21日(日) 『主戦場』

2月17日(土) 『沖縄スパイ戦史』

3月30日(土) 『未来を花束にして』

4月20日(土) 『権力を恐れず真実を 米国下院議員バーバラ・リーの戦い』

5月18日(土) 『未定』

6月23日(日) 『未定』

いずれも午前10時と午後1時30分の2回上映です。上映会HPでも、随時情報発信します。ぜひお越しください。

上映会 HP



しんぶん赤旗 ぜひお読みください！
権力に忖度しない本物のジャーナリスト精神を発揮し、スクープを連発。
文化面も充実していて、取り上げる映画にハズレなしです。
詳しくはこちら↓
<https://www.jcp.or.jp/akahata/2100/>

1日115円で、政治、文化、国際、暮らし、スポーツ、地方など80超に及ぶコンテンツが毎日読めます。

しんぶん赤旗

日刊紙 月3,497円 日曜版 月930円

日刊電子版 月3,497円

・連載を読みたいときに一気に読み
・テキストデータを読み上げ機能(*)を使いながら読むことも

学生のみなさんは学割がお得！
毎日届く日刊紙/電子版で
月3,497円 ⇒ 月2,200円